



市民クラブ
梅原 和喜



ペーロンを通じた都市間交流

問 兵庫県相生市や熊本県苓北町とは、相互にチームを派遣することで、ペーロンを通じた都市間交流を行っているが、今後も継続していく考えはあるか。また、地域の伝統文化を伝えていくため、市職員にも積極的にペーロン等の地域行事に参加してほしいが市の考えを伺いたい。

答 ペーロンを通じた都市間交流についての取組は、地域の文化を守り、他地域との交流を深める貴重な機会であり、シビックプライドを育むことにもつながるため、今後も継続していく考えである。また、市職員については、地域活動研修を実施しているほか、令和6年10月に、地域の活性化などに資する活動を行う場合に、特別休暇を取得できるように制度を見直した。今後、ペーロン大会をはじめ地域行事への積極的な参加や協力を呼びかけていきたい。



自民創生
澤勢 みずき



教育現場における包括管理業務委託の状況

問 学校施設管理業務は、令和7年4月から民間事業者には包括管理業務委託を行っているが、その実施体制を確認したい。また、委託後、学校現場から連絡して対応までの時間が遅い事例もあると聞いている。業務受託者との情報共有だけでなく、市が直接学校現場からの意見を聞くことも重要ではないか。

答 修繕を要する場合、学校から業務受託者へ連絡し、受託者が現場確認を行った後、市の監督職員の承認を得た上で、修繕する流れとなっている。あわせて、この包括管理業務が円滑に進められるよう、毎月1回、長崎市と受託者で定例会議を行い、お互いに情報共有を行うとともに、問題事案があれば、協議の上解決を図っている。学校現場に対しては、市からアンケートの実施等により状況を把握するとともに、情報共有体制の構築を進めたい。



自民創生
浅田 真五



今後の介護業界に対する取組

問 人手不足、物価高騰、介護報酬の改定等により介護事業所は厳しい状況にある。そのような中、折り返しを迎える第9期介護保険事業計画の進捗はどのようになっているか。また、事業所への支援について伺いたい。

答 本市が策定した第9期介護保険事業計画において、必要な介護サービスを整備することとしているが、建築資材の高騰や人材不足により、現時点で小規模多機能型居宅介護を一事業所整備するのみにとどまっており、整備が進んでいない。市としては、介護サービスを担う人材の不足は大きな課題であると認識し、介護事業所の意見を聞きながら、介護報酬の引き上げを国に要望することや、ICTテクノロジーの活用、外国人職員の就労促進、介護業界のイメージアップ等の支援を行っているきたい。



新政ミライ
都留 かすみ



ごみ出しに使えるレジ袋の導入

問 本市の家庭用指定ごみ袋は、最も小さい20Lの袋でも、単身・少人数世帯には大きすぎるため、袋が満杯にならないうちにごみ出しをすることになってしまう。他都市ではごみ袋としても使えるレジ袋を販売している。本市でも、省資源化や市の収入増につながるものとして導入する考えはないか。

答 本市の家庭用指定ごみ袋は、市から承認を受けた事業者が市の規格に沿ったごみ袋を製造し、小売店を通じて販売しており、製造販売の売上は事業者の収入とすることとしている。レジ袋サイズのごみ袋は使い勝手がよく、ごみ袋として再利用することで、プラスチック削減等の効果もあると考えられる。今後、ごみ袋を製造している事業者や店舗等の関係者の意向を確認し、導入について検討していきたい。

※6月定例会から、議会で使用する氏名を「都留やすとし」から「都留かすみ」に変更しました。